



2023年12月7日

各位

会社名 アルフレッサ ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 荒川 隆治
(コード番号2784 東証プライム)
問合せ先 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 羽野 和明
(TEL:03-5219-5102)

災害支援コンテナファーマシーの運用等に関する協定締結について ～移動が可能なコンテナファーマシーにより災害時の医療活動を支援～

当社の子会社であるアルフレッサ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:福神雄介、以下「アルフレッサ」といいます)は、2023年12月7日、静岡県藤枝市と「災害支援コンテナファーマシーの運用等に関する協定」を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 背景と目的

昨今、日本におきまして、豪雨や台風、また地震等による災害が発生した場合には、地域社会に甚大な被害をもたらすことがあります。

アルフレッサグループは「すべての人にいきいきとした生活を創造しお届けします」という「アルフレッサグループ サステナビリティ基本方針」を制定し、事業活動を通じて社会・環境問題の解決に取り組み、持続的な企業価値の向上を図っています。また、当社グループのサステナビリティ重要課題において「地域社会への貢献」を掲げ、社会インフラとして医薬品等の安定供給に努めています。

このたびアルフレッサは、「災害支援コンテナファーマシー」(以下「コンテナファーマシー」といいます)を開発し、静岡県藤枝市と「災害支援コンテナファーマシーの運用等に関する協定」を締結いたしました。コンテナには、耐久性や移動性があり、建物として利用できるといった特徴があります。

本協定の締結によりアルフレッサは、同市において災害が発生した際、アルフレッサ静岡物流センター敷地内に保管しているコンテナファーマシーを救護所等に派遣・設置し、災害時における医療提供活動を支援してまいります。

2. コンテナファーマシーの概要と特徴

①概要

貨物用コンテナを改造し、調剤設備等を搭載しています。主な設備は自動分割分包機、錠剤棚、水剤棚、散薬台、外用台、保冷库、金庫、カウンター、電子天秤、空調機器、照明、水タンク、発電機等です。トラックで牽引することで移動が可能です。

②特徴

コンテナ自体が強固であり、重さがあるため強風に強く、防犯性にも優れているためコンテナ内部の設備や物資を守ることができます。また、コンテナ1基に多くの物資を搭載することが可能であり、必要とされている医薬品等をより多く災害現場へ輸送することができます。発電機や水タンクを搭載していますが、派遣先でライフラインが復旧した場合、電源コンセント、水道と接続することで建物として長期にわたり支援活動を行うことができます。

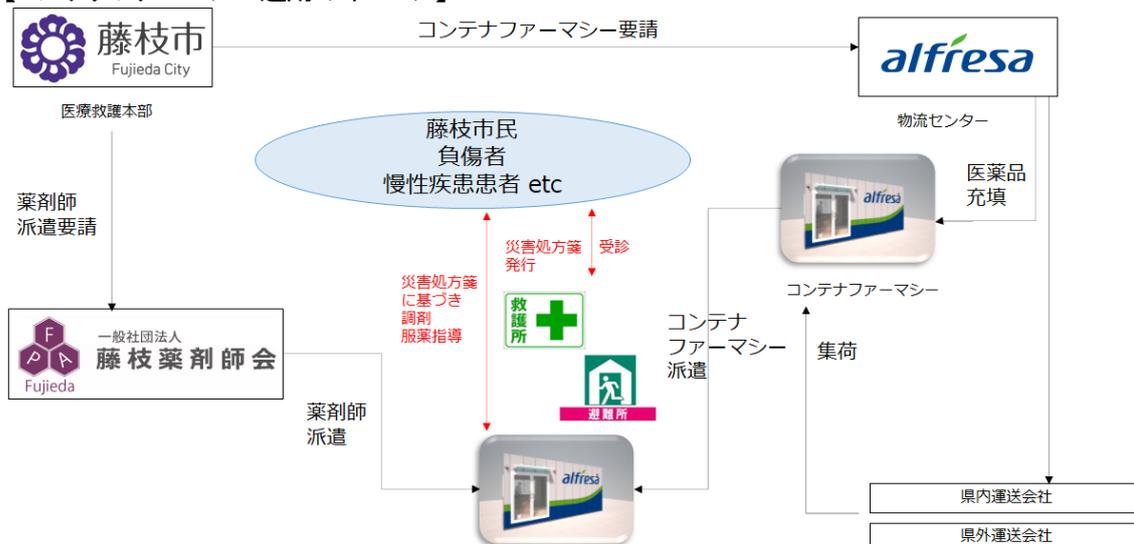
3. 運用の概要

災害発生後、藤枝市からのコンテナファーマシー派遣の要請を受け、アルフレッサが医薬品をコンテナファーマシーに充填し、県内・県外の運送会社の協力のもと臨時で設置された救護所等まで輸送します。

コンテナファーマシーを救護所等に横付けで設置することより、救護所等の一部と位置づけ、災害救助法が適用された地域で発行される「災害処方箋[※]」を応需することを想定しております。

※ 災害処方箋:災害救助法が適用された地域において救護所、避難所救護センター等の保健医療機関以外の場所で交付され、通常の診療報酬による支払いの対象とならない処方箋のこと。

【コンテナファーマシー運用のイメージ】



4. その他

コンテナファーマシーの詳細と、コンテナファーマシーを使用した静岡県藤枝市地域防災訓練への参加[※]の様子については、2023年12月11日に開催される、医療・ヘルスケア分野における最新テクノロジー(ヘルステック)とそれを活用した先進事例を紹介するグローバルカンファレンス「Healthtech/SUM 2023」にてアルフレッサよりご紹介する予定です。

Healthtech/SUM 2023 公式サイト

<https://www.healthtechsum.jp/index.html>

※ ご参考:2023年12月7日付「令和5年度における静岡県藤枝市地域防災訓練への参加について」

URL:<https://www.alfresa.com/news/2023120702.pdf>

以上

【コンテナファーマシーの外観】



【12月7日に行われた藤枝市との協定締結式】



【写真右】藤枝市長 北村正平様

【写真左】アルフレッサ(株) 医薬営業統括本部 東海営業本部長 松井和人